

関西医大で
スーパードクター
を目指そう

卒研センター NEWS

麻酔科

スペシャリストに学ぶ専門研修



当科の特色は、各subspecialty(心臓血管外科麻酔、区域麻酔、小児麻酔、呼吸器外科麻酔、産科麻酔、集中治療、ペインクリニック、緩和医療)に精通した指導医から直接指導を受けられること。附属病院では各診療科による多彩な手術が行われており、多くの手術麻酔を学べます。また、術後管理を担当することで術後経過を系統的に診ることも可能です。

救急医学科

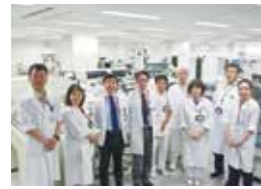
臓器別疾患にかかわらず、重症病態に迅速に対応できる専門医を育成



当科は幅広く対応できる専門医を育成するため、初療での重症患者治療から続いて手術・ICUでの集中治療も研修可能です。熱傷、中毒など特殊な救急疾患だけでなく、common diseaseの重症病態も多くあります。頭部・腹部・整形手術、IVR、緊急内視鏡などの様々な手技の修得や、DMAT、ドクターカー乗務などの経験も可能です。

臨床検査医学科

臨床と検査医学の橋渡しとなる医師を育成



臨床検査医学は「基本領域専門医」の一つですが、医師数が非常に少なく、社会的なニーズの高さが特徴です。当科は国際認証を受け、良質な専門医育成環境を整備。臨床と検査医学の橋渡しが出来る専門医育成を目標に、様々なプログラムを用意しつつ、病理学を同時に学べるなどsubspecialtyの資格取得も積極的に推奨しています。

病理診断科

診療チームの一員として活躍できる病理医を育成



当科は、ほぼ全ての診療科から提出される検体に対して確定診断を行い、治療方針の決定を左右する重要な情報を提供。病理専門医数は絶対的に不足していますが、臨床での必要性は高まっています。当科では、豊富で多彩な症例を経験することができ、最短で専門医受験資格要件を満たすことが可能です。また、様々なキャリアアップの方法を提供しています。

附属病院にハイブリッド手術室が登場

7月2日(月)、関西医科大学附属病院に最新鋭のハイブリッド手術室が登場しました。これまで迅速な対応が難しかった「手術」と「血管造影」が一つの手術室で行えるようになり、診療時間短縮と患者さんの移動負担軽減が実現。経カテーテル治療の増加も予定しており、主に心臓血管外科・血管外科(ハートセンター)において活用が期待されています。

また、ハードウェアだけでなくソフトウェア面でも、先進のアプリケーションを実装。造影剤量・被ばく線量の低減や、抗菌・防水加工により院内感染の予防にも寄与でき、医療従事者の身体的負担や感染リスクを軽減しています。術者が安心して手術に取り組めるよう、様々な進化を実現しました。



第一内科 (血液腫瘍内科・呼吸器内科・リウマチ膠原病科)

診断能力の向上から難治性疾患の治療スキルアップまで!



当科は血液疾患、膠原病やリウマチ性疾患、原発性肺がん、胸部悪性腫瘍、COPD、甲状腺がん、頭頸部がんなど、他科とも連携して幅広い疾患の診断と治療を行っています。圧倒的な症例数を誇り、多くの知識や手技を学べるだけでなく、治験・臨床試験、他施設との共同研究、近隣クリニックとの合同カンファレンスなど、幅広く見聞を広めることが可能です。

第二内科 (循環器内科・腎臓内科・内分泌内科・糖尿病科)

Subspecialtyを持ちつつ生活習慣病全般を診療する



当科は、相互に密接な関連を持つ循環器・腎臓・内分泌代謝の3領域を担当。「生活習慣病」が多く含まれており、高齢社会において重要性が高まっています。当科では卒後3年目まで生活習慣病全般の診療を学び、卒後4年目からは学外でsubspecialtyを中心に研修し、後期研修後も希望に応じた多様なキャリアパスを準備しています。

第三内科 (消化器肝臓内科)

内視鏡検査技術を確実に習得し、消化器・肝臓領域の診療と研究が可能!



当科では、病棟を離れて内視鏡検査技術を集中的に習得する強化月間を設定し、確実に早期のマスターを支援しています。また、検査だけでなく手術件数も国内屈指を誇り、最先端の手術手技を積極的に実施するなど、専門医取得まで最短で研修可能です。研究面では癌と炎症をテーマとし、消化器肝臓領域の病態解明などを推進しています。

心療内科

患者の人生を支える医療。心療内科と総合診療科が併存する唯一の講座



当科は身体のみならず、心理社会的因子も含めた幅広い視点で内科領域の疾患を診る診療科です。これは症状を一から解き明かす総合診療科にも必要とされる視点で、両科はとても近い距離にあります。コミュニケーションを駆使してニーズを酌み取り、患者さんに最適な診療を実践する。いわば患者さんの人生に寄り添う医療といえます。

読者の声
voice
ここでは読者の声をご紹介します!

あなたの「声」を掲載しませんか?

卒研ニュースでは読者のご意見・ご感想を募集しています。気になることや面白いこと、施設を利用したご感想やご要望などさまざまな読者の「声」をお待ちしています。

応募先 sotugori@hirakata.kmu.ac.jp



神経内科

脳・神経の深淵に迫れ!
われわれと一緒に充実した研修を!



当科の研修は「丁寧な病歴聴取と詳細な神経学的診察による高い診断能力を身につける」ことが最大の目標。附属医療機関には豊富な症例が集まり、様々な専門性を持つ指導医が直接診察に携わるため、充実した研修で確実に診療能力を向上させられます。また、入局後は国内有名病院への出向や大学院入学、海外留学なども可能です。

心臓血管外科

心臓血管外科領域を網羅した、
充実の指導体制がここにあります!



冠動脈、弁、大動脈、腹部末梢血管、先天性疾患に対する標準手術、傷の小さな低侵襲手術(MICS)、ハイブリッド手術室でのステントグラフト治療など、各分野のエキスパートが指導します。ブタ心臓を使った手術練習(写真Wet labo)、早期からの執刀、術後管理研修により、誰もが一定の技能を獲得できます。学会発表、論文作成、専門医資格獲得など将来に向けてのキャリアパス形成が可能です。

精神神経科

きめ細やかな指導を行いたくて
仕方のない指導医が待っています!



今、精神科は受診者数が増え、産官学分野でもニーズが増大しています。また、精神科は多様性が高く守備範囲の広さも特徴。このため、価値観に合わせてライフプランを選択できます。少しでも精神科が気になっているなら、あなたは間違いなく精神科医に向いています!和気藹々と、かつ真摯に臨床・研究と向き合う当科の仲間になってください。

脳神経外科

脳神経外科医になって
“脳”のエキスパートになろう!!



当科の担当は、脳卒中、頭部外傷、脳腫瘍、てんかん・三叉神経痛などの機能的疾患、小児疾患、脊髄・脊椎疾患など幅広い特徴です。当科の研修では毎朝の症例カンファレンスで理解を深め、年400例を超える手術で手術手技をトレーニングできます。指導医のマンツーマンに近い指導も特徴で、過去10年間の専門医試験一発合格率は100%です。

外科 (消化器外科・乳腺外科・小児外科)

THE SKILL TO HEAL.
THE SPIRIT TO CARE.



当科は、消化管外科、肝臓外科、胆膵外科、小児外科、乳腺外科で構成されています。外科医に求められるのは患者さんを治す技術と患者さんを癒す精神。診療科を超えて様々な外科医と触れ合うことで、学んでいただければと思います。

呼吸器外科

がん死亡1位・肺癌に、
最高の手術で立ち向かう



当科が扱う主な疾患は原発性肺癌を含む悪性胸部疾患で、呼吸器腫瘍内科・放射線科治療部門・同IVR部門、病理部門などと連携し、胸腔鏡手術から集学的治療まで共同で治療を行っています。豊富な手術例の中で開胸手術、胸腔鏡手術とも学べるのが特徴です。他外科領域の研修を受けることもでき、最短での専攻医資格の取得を支援します。

小児科

日本、そして世界の子どもたちの
健やかな成長を守る小児科医になろう!



当科の研修は最初の6~12ヶ月を、70床の入院病床とこども館(小児科外来診療施設)を持つ附属病院で行います。その後、学外連携施設では専門医取得に必要な、あらゆる症例を研修します。救急患児も積極的に受け入れているため、救急疾患対応も修得できます。専門医試験対策として隔週土曜日に指導医が講義しており、最近3年間の専門医試験合格率は100%です。

整形外科

外傷から慢性疾患まで幅広く経験でき
高い医療技術を学べます



当科は医局員を大切に、困ったときは協力しあうのが理念。親切・丁寧な指導を心がけています。診療では、高度成人脊柱変形の低侵襲性椎体間固定術や、骨粗鬆症性椎体骨折に低侵襲性脊柱再建術を、高度な麻痺には術中脊髄神経モニタリングを先駆けて実施。「人工関節センター」「手の外科センター」もあり、専門的な研修が可能です。

リハビリテーション科

社会に求められるリハビリテーション
医療のスペシャリストに!



当科は先進的リハ医療の提供を目指しています。人としての活動を再建するのに必要な技術を産学が連携して開発し、いつでも提供できる医療システムを展開。病態を的確に捉え、障害を定量的に解析し、生活再建を誘導するリハ治療スキルの体得が可能です。様々な体験を通じて、高齢社会を支える医療チームリーダーを育成します。

皮膚科

やりがいのある充実した
皮膚科専攻医研修



真剣な研修を楽しく、やりがいを感じながら行い、専門医取得に向けた充実した研修をモットーにしています。資格取得に必要な学会・論文発表は早期に終了できるよう指導。必要な診断技術や実地診療は豊富な患者数と症例経験で習得し、基礎的知識はカンファ・勉強会を通して学べます。また、各自の興味のある分野を支援しています。

眼科

『眼球は神秘的な小宇宙』
多くの患者さんに明るい光を届けましょう!



眼球は10円玉大の小さな臓器ですが、五感から入る情報の8割は視覚と言われ、重要な役割を担っています。また、眼科学には多くの専門領域があり、奥の深い学問です。当科の研修では、眼科専門医となるための診察や手術トレーニング、学会発表から論文作成まで、直接指導医がついて手厚く指導しています。また、ウェットラボの常設により確かな手術研修が可能です。

放射線科

ワーク・ライフ・バランスを保ちながら、
専門医としてのキャリアを磨く



当科は、各種X線写真やCT/MRIから診断する「放射線診断学」、放射性同位元素を投与して診断する「核医学」、血管造影検査やX線透視、CT/超音波ガイド下で診断・低侵襲的治療を行う「血管造影・IVR」、放射線で悪性腫瘍を治療する「放射線治療学」の4分野で展開。女性医師のライフステージに応じたサポートも重視しています。

形成外科

当科の研修で形成外科の
スーパードクターへの第一歩を!



形成外科は体表外科であり治療対象は極めて多種多様ですが、当科ではほとんどの治療を経験可能。基本的手技から、標準的治療、先進的治療まで経験することができる他、最先端の再生医療を応用した治療も体験できます。これらの臨床経験を基盤として専門医を取得し、優れた医療人である形成外科医の育成を目指しています。

腎泌尿器外科

広いサブスペシャリティを
有する腎泌尿器外科



当科はいち早く腹腔鏡手術に取り組み、その進歩とともに大きく成長してきました。症例数は全国有数で、あらゆる泌尿器疾患において専門医を有しています。今後は研究分野でも飛躍を目指しており、一人でも多くの人材が必要です。みなさんと一緒に切磋琢磨していきたいと考えています。興味のある方は、WebサイトやFacebookをご覧ください。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

多彩な耳鼻咽喉科領域の疾患を
効率的に経験することができます



当科は症例の質・量ともに非常に高度と自負しています。入局半年もすれば執刀医を任されることが増え、早期から効率的に技術を修得することが可能です。そんな環境がゆえに自然と知識、技術が身につく、10年以上専門医合格率100%を維持。学会発表や研究、論文執筆に関しても丁寧な指導を受けることができ、学術業績を積むことも可能です。

産婦人科

女性の一生を守る医師になりませんか
みんな温かく迎え入れます。



当科の強みは症例数の多さとバリエーション。年間分娩件数777件、母体救急搬送154件、手術件数615例、1日平均外来患者数150人。周産期も婦人科腫瘍も体外受精もなんでも経験できます。専門医取得後はsubspecialtyを目指す人、大学院で研究したい人のサポートもバッチリ。また、最大のアピールポイントは医局の雰囲気です。